

# NEWS LETTER

善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局 ■ 公益社団法人 長野青年会議所 内  
Tel : 026-228-3260  
http://www.sekaisan-zenkoji.jp/

## ごあいさつ



善光寺の世界遺産登録をすすめる会  
塚田 まゆり

2001年10月、市民の声によって、国内外に善光寺さんがもっと広く知られ、多くの人々が長野市を訪れて新たな交流が生まれることを願う「善光寺の世界遺産登録をすすめる会」を経済団体やまちづくり団体、学識経験者などにより発足させました。

これを受けて、長野市は善光寺さんの世界遺産の登録に向け、2007年12月に世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書と検討状況報告書を県と共同で文化庁に提出しました。

今日まで、善光寺さん周辺の電柱の地中化工事をはじめとした景観整備、文化遺産を生かした街づくりの推進などが行われてきました。

しかしながら、市民の方々へのヒアリングでは「世界遺産になったら敷居が高くなる」「善光寺さんは十二分に知名度もある。数え年で7年に1度の御開帳も有名。今さら世界遺産にしなくても」という声も耳にしてきました。

庶民に愛されてきたお寺だから、ずっとこのままで——なるほど、と思いましたが、世界遺産登録を目指す中では、命懸けで善光寺さんの本堂を守った参詣客の方々の信仰への思いを語り継ぐ機会としなければ、と私は願うのです。

それは、1847(弘化4)年3月24日、午後10時に発生した善光寺地震(最大震度7、マグニチュード7.4、死者8千人~1万2千人)に関連しています。

門前町は多くの建物が倒壊して圧死者が相次ぎ、火災は二夜燃え続けて9割以上を焼失。死者は門前町関係者が1千4百人、参詣客1千人以上でしたが、善光寺さんの本堂は揺れに耐え、火災も免れました。

震災発生の2週間前から御開帳が開催され、発生時の夜間も多くの参詣客でにぎわっていましたが、参詣客が本堂の屋根に上り、火の粉が降りかからぬよう、消火活動を行ったからでした。その恩恵を私たちが今日、享受しているからです。

善光寺さんの歴史を俯瞰すると本堂は度重なる火災に見舞われ、そのたびに信心深い善男善女の信徒の手で再建されましたが、現存の本堂は信心する人々によって火災から守られていたことは、善光寺さんの世界遺産を目指す活動の中で、語り継がねばならない責任も伴っているのではないのでしょうか。

命懸けで善光寺さんを守って下さった参詣客の方々がいいた。だからこそ、感謝の念を語り継ぐために世界遺産登録を——と私は感じています。

善光寺さん。  
宗派を問わない「開かれた寺」として善男善女に親しまれてきた善光寺さんの本堂の創建は、644(皇極天皇3)年と実に約1400年も前にさかのぼります。

高速度道路や北陸新幹線の恩恵を受ける現在、私は「一般的な交通手段が徒歩に限られたかつて、全国各地からの参拝がどれだけ大変だったか」と考えさせられます。

「遠くとも一度は参れ善光寺」は、今も使われるお馴染みの言葉です。徒歩が交通の手段だった時代、「一生に一度は善光寺へ」という願いが全国各地に浸透した善光寺信仰の大きさを教えられますが、その信仰の尊さゆえに長野市が善光寺さんの門前町として発展してきたことには感動も覚えます。



©善光寺

「善光寺と門前町」は、2016年、2017年と日本遺産の選定に向けたワークショップや研究、検討を長野県教育委員会、長野市教育委員会を中心にすすめている。単一的な視点からより広域的な価値を示す「シリアル型」の申請に向けて多角的に検討を重ねている。

- ### 3. 「世界文化遺産・暫定リスト」記載に向けて
- 暫定リストは、世界遺産登録に先立ち、各国がユネスコ世界遺産センターに提出するリストのことである。2017年(平成29年)現在、8件の暫定リストがあり、登録の準備が進められている。「善光寺と門前町」は暫定リストの候補資産「カテゴリーIb」に位置づけられている。
- 〈世界遺産に推薦することが確定した暫定リスト〉
- ・長崎の教会群とキリスト教関連遺産(長崎県)  
→2018年(平成30年) 審議予定
  - ・百舌鳥・古市古墳群(大阪府)  
→2019年(平成31年) 審議予定
- 〈世界遺産に推薦する予定の暫定リスト〉
- ・飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群(奈良県)
  - ・北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群(北海道・青森県・岩手県・秋田県)
  - ・金を中心とする佐渡鉱山の遺産群(新潟県)
  - ・平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)(岩手県)
  - ・彦根城(滋賀県)
- 〈世界遺産委員会より登録延期勧告が示された暫定リスト〉
- ・古都鎌倉の寺院・神社ほか(神奈川県)

## 今後の活動方針

- ### 1. 「重要伝統的建造物群保存地区」選定に向けて
- 伝統的建造物群保存地区とは、城下町、宿場町、門前町などの伝統的な建物が群をなして歴史的風致を形成している環境を保存するために設けられた制度です。市が都市計画および条例によりその地区を定め、価値が高いものを重要伝統的建造物群保存地区として選定されている。
- この制度は、文化財としての建造物を「点」(単体)ではなく「面」(群)で保存しようとするもので、保存地区内では「建築物」はもちろん、門、塀、石塔、燈籠などの「工作物」や、庭園、生垣、樹木、水路などの「環境物件」を特定し、一体的な環境保全を図っている。
- 2017年(平成29年)7月現在、日本全国で43道府県95市町村の115地区が選定されていて、長野市では「戸隠地区」、長野県内では「妻籠宿」「奈良井宿」「海野宿」などが選定されている。
- 「善光寺と門前町」においては、善光寺本堂をはじめとする境内全体に加えて、宿坊群、仲見世などをその対象として検討が積み重ねられており、現在は建物調査が完了し、条例の枠組みや修理修景基準などが具体的に示され、地域住民の同意を得ながら選定を受ける準備が着実に進んでいる。
- ### 2. 「日本遺産」選定に向けて
- 歴史的経緯や地域の風土に根ざした伝承や風習を踏まえた「ストーリー」を、文化庁が認定する制度で、2015年(平成27)4月に認定をはじめた。地域の歴史的特徴・特色を示す興味深さ・斬新さなどを有し、日本の魅力を十分に伝える内容になっていること、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていることが認定の基準とされている。
- 「物語性」を重視しているため、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財が対象となったことなど、日本のこれまでの文化財の考え方を大きく広げるものとなっている。文化庁では、東京オリンピックが開催される2020年までに、100件程度を認定する方針となっている。
- 日本遺産に認定されることが、世界遺産へのステップになるわけではないが、第1回認定のなかには、「近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-」や「四国遍路(へんろ)~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~」など、2007年に文化庁が世界遺産暫定リストの候補物件として位置づけ、その後も世界遺産登録を目ざしている物件が一定数含まれており、世界遺産の補完的な意味合い、あるいは「予備軍」としての位置づけもかいまみえるものとなっている。

- 8月 日本遺産登録申請に向けたワークショップを開催。  
(主催:長野県教育委員会、長野市教育委員会)  
以後、計6回ワークショップを開催し、提案書を作成。文化庁に提出する。
- 伝統的建造物群保存地区選定に向けた連絡会議を開催。行政、地元住民との会合を重ねる。以後、計3回開催。

- 平成28年(2016)
- 7月 門前町文化講座開催。  
「善光寺と真田家の関係について」  
講師:原田和彦(長野市立博物館学芸員)  
善光寺事務局3階講堂



- 8月 日本遺産登録申請に向けたワークショップを開催。  
提案書の再構成。

- 平成27年(2015)
- 7月 門前町文化講座開催。  
「絵解きから見た善光寺参りの昔と今」  
講師:小林玲子(絵解き口演家 長野郷土史研究会副会長)  
善光寺事務局3階講堂



- 日本遺産フォーラム出席。  
東京国立博物館



## すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆様方からの年会費によって活動しております。

朝日病院	信州製袋	長野北ロータリークラブ	長野通運	福澤商店
インフォメーションネットワークコミュニティ	信防工ディックス	長野県経営者協会	長野都市経営研究所	藤森建設工業
植木商店	信毎文化事業財団	長野県建築士事務所協会	長野トヨタ自動車	淵之坊
エーシー工設計	鈴木土地	長野県社会保険労務士会	長野トヨペット	ペイクックコーポレーション
FMぜんこうじ	炭平コーポレーション	長野県信用組合	長野西ロータリークラブ	ホテル国際21
エムケー精工	駿専青木商店	長野県信用農業協同組合連合会	長野東ロータリークラブ	増田商会
おらが園	善光寺木遣り保存会	長野県芸術文化協会	長野放送	松澤工業
カシヨ	善光寺事務局	長野県中小企業団体中央会長野支部	長野ユネスコ協会	松田・南信
北野建設	善光寺まちづくり会議	長野市設計協会	長野ロータリークラブ	マルイチ産商
倉田博光会計事務所	第一建設工業長野支店	長野市電設業協会	中村建築研究所	萬住亭
国際ソロプチミスト長野	タカチホ	長野酒造協会	中山法律事務所	ミヤテック
国際ソロプチミスト長野みすず	高野総本店	長野商工会議所	夏目	宮本忠長建築設計事務所
小林歯科医院	滝澤無線	// 篠ノ井支部	Nikki Fron	元善町
西條被服	長印	// 松代支部	日新電機製作所	山口司法書士事務所
信濃毎日新聞社	テレビ信州	長野商店会連合会	日本旅行 長野支店	八幡屋機五郎
シューマート	電算	長野信用金庫	野村証券 長野支店	
信越定期自動車	長野朝日放送	長野青年会議所	八十二銀行	
信越放送	長野観光コンベンションビューロー	長野設計協同組合	八十二文化財団	(50音順)

平成29年9月現在 ※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡下さい。

## 編集後記

善光寺世界遺産登録に向け会の発足から様々な活動を行なって参りました。今号は、その歩みを振り返るとともに、今後の活動方針を掲載させていただきました。かけがえない日本の宝物「善光寺」を世界の宝物に、そして未来へ引き継ぐために、今後も活動をすすめて参ります。本会を支えていただいている会員の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

# これまでの活動経過

## 平成13年(2001)

10月 善光寺の世界遺産登録をすすめる会発足。



## 平成14年(2002)

7月 世界遺産登録に向けてアピール書を長野市長に提出。

## 平成15年(2003)

11月 3回連続の市民講座を開催。善光寺をはじめとする地元の方々との理解を深める。

## 平成16年(2004)

8月 善光寺全山会にて「伝統的建造物群保存地区指定」に向けて全山の賛同を頂く。

9月 善光寺周辺の伝統的建造物群保存地区指定に向けて長野市長に協力要請を行う。

12月 長野市教育委員会により善光寺周辺伝統的建造物群保存予定地区調査委員会(委員長:宮澤智士長岡造形大学名誉教授)が設置される。  
長野市教育委員会、当会の各代表者らが文化庁文化財部建造物課を訪問。

## 平成17年(2005)

1~3月 調査委員会による予備調査が実施される。



5月 第2回調査委員会…16年度予備調査結果の報告と17年度の調査方針が協議される。

6月 長野市教育委員会、当会の各代表者らが文化庁文化財部建造物課を訪問。

7~10月 調査委員の信州大学工学部土本俊和教授と同研究室により宿坊を中心とした伝統的建造物の実測調査が実施される。

## 平成18年(2006)

5月 第3回調査委員会…宿坊の実測調査15件が完了。



6月 「善光寺周辺たてももの調査パネル展」開催。  
(主催:長野市教育委員会 共催:すすめる会)



小坂憲次文部科学大臣を訪問。善光寺の世界遺産登録に向けた活動の近況をご報告。



11月 文化庁が世界文化遺産暫定一覧表への推薦候補物件を募集。全国から24件の提案書が出される。

12月 伊吹文明文部科学大臣、副大臣、政務官、文化庁長官を訪問。世界遺産暫定一覧表の選定に向けて、善光寺の調査状況やすすめる会の活動についてご報告。



すすめる会専門委員懇談会。  
東京大学大学院教授:鈴木博之先生

## 平成19年(2007)

1月 文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会。暫定一覧表の追加物件として富士山、富岡製糸場、飛鳥藤原、長崎教会群の4件を選定。残り20件を継続審査案件とする。

2月 善光寺門前まち並みフォーラム共催。  
(長野市教育委員会主催)



善光寺周辺伝統的建造物群保存予定地区調査報告会および宿坊パネル展を行う。(市生涯学習センター)  
すすめる会専門委員懇談会。  
東京大学生産技術研究所教授:藤森照信先生



長野市教育委員会が提案書作成ワーキンググループを設置。(座長:土本俊和信州大教授)



11月 ワークショップ@善光寺 第1時限目「善光寺境界を歩く」(講師:小林玲子)開催。

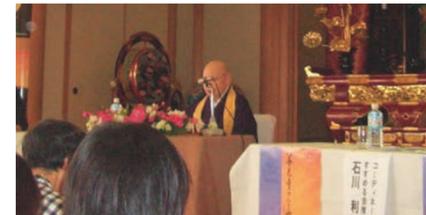
12月 ワークショップ@善光寺 第2時限目「善光寺宿坊見学」(講師:土本俊和)開催。



文化庁に世界遺産暫定リスト提案書「善光寺と門前町」を長野県と長野市で共同提案、提出する。

## 平成20年(2008)

1月 ワークショップ@善光寺 第3時限目「女性達が語る善光寺の未来」(鷹司誓玉お上人さま他)開催。



2月 すすめる会専門委員懇談会:石井幹子先生

3月 ワークショップ@善光寺 第4時限目「提案書プレゼンテーション」開催。

5月 門前町文化フォーラム「善光寺・世界遺産への道」開催。  
基調講演「世界文化遺産の考え方」  
講師:西村幸夫(東京大学教授 前イコモス副会長)



パネルディスカッション「文化遺産とまちづくり」  
「善光寺周辺たてももの調査パネル展」同時開催。

9月 文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会。暫定一覧表の追加物件として北海道・東北の縄文遺跡群、佐渡金山、百舌古墳群、九州山口近代産業遺産

群を選定。  
「善光寺と門前町」は世界遺産暫定リスト候補資産としてカテゴリーIbに評価される。

12月 長野市長訪問 「善光寺と門前町」の伝統的建造物群指定に向けた支援と世界遺産登録に向けた継続研究を依頼。



## 平成21年(2009)

11月 門前文化ツアー「日本の門前町を訪ねて」伊勢神宮開催。一般市民らと門前町のまちづくり見聞を通じて世界遺産を考える。(30名参加)



世界遺産プロジェクト善光寺@2009開催。  
(主催:信州大学工学部土本研究室、すすめる会後援)  
世界遺産比較研究、登録基準への適合性など研究成果が発表される。

12月 出張講座開催。(清泉女学院大学)

## 平成22年(2010)

2月 門前歴史若手サミット開催。  
(主催:長野郷土史研究会青年部、すすめる会後援)



5月 世界遺産セミナー開催「善光寺と門前町」世界に発するStatement of OUV

講師:秋枝ユミイザベル(東京文化財研究所特別研究員)

## 平成23年(2011)

6月 門前町文化フォーラム開催。  
「善光寺と門前町の未来を語る若者たち」復興と再建の歴史から学ぶ「まち」の再生力パネリスト…小池雅久、清水雄介、小林竜太郎、増沢珠美、宮本圭  
長野市生涯学習センター (Toigo)  
長野市副市長、教育次長 訪問。

## 平成24年(2012)

6月 善光寺の世界遺産登録をすすめる会 講演会開催。  
「善光寺門前町の変遷」  
鎌倉時代から現在までの中心市街地の変遷を解き明かす  
講師:小林一郎(長野郷土史研究会会長)  
善光寺事務局3階講堂



## 平成25年(2013)

6月 善光寺と門前町トークセッション開催。  
「善光寺周辺の伝統的建造物群保存地区指定に向けて」  
講師:土本俊和(信州大学工学部教授)  
パネリスト…若麻績敏隆、滝沢秀人  
善光寺事務局3階講堂  
伝統的建造物群保存地区連絡会議 発足。

## 平成26年(2014)

6月 世界遺産セミナー開催。  
「世界文化遺産 富士山—信仰の対象と芸術の源泉」  
講師:大村章仁(静岡県文化観光部富士山世界遺産課)  
善光寺事務局3階講堂



12月 長野市副市長、訪問。